

# 令和4年度 地域自治組織情報交換会レポート

地域振興部地域振興課

令和4年12月21日（水）に地域自治組織情報交換会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、一昨年は中止、昨年はyoutube配信となりましたが、今年度は市民活動センターおおの（大野支所3階会議室）をメイン会場とし、各支所サテライト会場と講師、個別参加者をZOOMでオンライン接続しての開催となりました。

50名ほどにご参加いただき、第一部ではまちづくりチャレンジ応援補助事業の採択団体による事例発表、第二部では合同会社フォーティR & Cの水津陽子さまよりご講演いただきました。



## <全体テーマ「IT×負担軽減×担い手確保」>

### 第一部 まちづくりチャレンジ応援補助事業 採択団体による事例発表

#### ○阿品台コミュニティ「デジタル化推進事業（ためまっぷプロジェクト）」

阿品台コミュニティでは、地域行事やコミュニティ活動への関心や理解の向上を目指し、住民発信型掲示板アプリ「ためまっぷ」による、地域情報の見える化や発信に取り組まれています。

操作説明会の開催、市民センターへの閲覧コーナーの設置など、利用促進に向けて様々な工夫をされているほか、今後は、独居者の見守り機能の試行や、住民への利用状況調査を予定されています。

また、PRや資金調達も含め協賛企業への連携協力の推進も検討されています。



発表者 会長 山口さん(右) 事務局長 國光さん(左)

#### ○大野第9区「デジタル回覧板導入による若い世代の区への参加促進事業」

大野第9区では、コミュニティの高齢化や担い手不足といった課題を背景に、地域情報の伝達手段である回覧板に着目し、デジタルを活用した効率的な運用による、役員の負担軽減や若い世代への参加促進に取り組まれています。

身近なツールであるLINEと高齢者にも馴染みのあるメール回覧システムという2つの手法により、回覧する側とされる側の双方に配慮した工夫を施されています。

今後は、安否確認等への活用の検討や、参加促進のため行事開催時の声掛けなどを予定されています。



発表者 区長 福本さん(左) 副区長 三山さん(中)、藤崎さん(右)

## 第二部 合同会社フォーティR&C水津陽子さま ご講演

昨年に続き登壇いただきました水津さまには、「IT×負担軽減×担い手確保」をテーマに、先進的な自治会の取組事例や、ITを活用した取り組みを進める上で押さえておきたいポイントや進め方について、分かり易くお話しいただきました。

また、地域の学生やITが得意な人にサポーターとして地域活動に携わってもらうなど、既存の組織形態に囚われない試みの紹介は、今後の地域自治組織のあり方を考えていく上で一つのヒントになったのではないのでしょうか。



## 感想・ご意見

### 阿品台コミュニティ発表

- ・アンケートで意識調査をしている点が良かった。
- ・デジタルを早めに導入されており、有意義な取り組みだと思った。アプリ費用が負担になりそうなのが気になる。
- ・経費と労力がかかるが、住民に浸透すれば良い内容だと思う。

### 大野第9区発表

- ・現状のみに限らず継続させるため広く課題を見据えて取り組んでいるところが感心した。
- ・若い層が取り組みをされていると感じた。システムは金銭面でどう継続していくか工夫が必要だと思った。
- ・利用者の伸び悩みについては難しい問題と感じた。

### 水津さま講演

- ・興味関心をもってもらい地域のサポーターとして参加してもらえる人材を見つけることが重要だと認識しています。色々なやり方を今後も進めたいと思います。
- ・現状、役員の担い手不足、会員の減少等を憂慮しているが、水津講師の言われるように役員、会員の概念もしくは形態の変換ひいては、地域コミュニティ組織の改編も必要になってくるのではと思われる参考になりました。
- ・ITを活用した防災活動・訓練は良いと思った。説明会・勉強会が必要。